

巻頭
言

同じ穴の貉

会長 山崎 學



安倍晋三元総理を暗殺で失ってからのこの国の混乱は想像を絶するものがある。安倍元総理が廃止を命じたパーティー券収入のキックバック問題は岸田文雄総理の下で政局化して、前にも述べたように予算委員会を含めて裏金問題一色の国会になってしまった。その結果、国際的政治不安から起きた生活関連物資を含めた物価高騰対策などの優先事項の審議が置き去りにされ、実質賃金は24ヵ月低下しているのにまったく審議されずに、多くの国民は生活苦にあえいでいる。こうした国民感情を無視して党利党略に明け暮れている与野党の議員に政治を語る資格はない。裏金問題にしても岸田総理は自民党最高責任者として自己の責任を明らかにすることなく他者の追及に明け暮れ、補欠選挙を含めた地方選挙で全敗しても責任問題に触れることなく、ここ3年間の物価高騰で消費税収入として国庫が潤沢になっていることを棚に上げて、6月開始予定の4万円定額減税で国民の心をつかめると思っている理解力には恐れ入る。自民党の政治資金規正法改正案にしても古い自民党の体質を抜本的に変えたい自民党員の願いを無視した小手先の改正案にとどまっている。

対する野党の立憲民主党にしても法改正前の駆け込み開催で大串博志選挙対策委員長、岡田克也幹事長による政治資金パーティーの開催が予定されたものの、批判を受けて中止を表明した。かつて民主党政権時代に20億円超の虚偽記載をした小沢一郎議員、架空名義の虚偽記載をしていた鳩山由紀夫元総理、韓国人から寄付を受けていた菅直人元総理、野田佳彦元総理、前原誠司元外務大臣と叩けば埃だらけの御仁が反省することなく、上から目線のコメントを寄せるのは相変わらずである。米国が禁止しているように外国人によるパーティー券購入によって国の政策がゆがめられる恐れがあることが問題の本質である。

静岡県知事選では保守系候補の応援で入った上川陽子外務大臣の「(推薦候補を)生まずして」の発言趣旨を「(子どもを)産まずして」と誤った切り取り印象操作報道をして地方紙に一斉配信する共同通信のやくざもどきの手法は、かつて「精神科医に拳銃を」で煽られた当事者として心底腹が立つ。

政党助成金で本来の趣旨に沿って配っても不足するなら不足する根拠を明らかにして新しい助成方法を構築するべきである。しかし、かつて報じられた政策活動費として女性下着購入、漫画購入、勤務実態のない個人への給与等への支出がまかり通るような運用実態のあり方自体が大きな問題であることを指摘したい。国が長生きさせてくれたお陰で高齢化が進んで少子化と相まっ

て社会保障費の増加と若年層の税負担者の減少が大きな問題になり、結果として所得の少ない高齢者にも応分の負担が求められる社会構造になってきている。

こうした中で財務省は馬鹿の一つ覚えのプライマリーバランスの黒字化を目指して徴税に余念がない。しかし、令和6年4月の財務金融委員会の財務省答弁にあったように、我が国は個人資産 2,141 兆円（令和5年12月）、個人・法人含めた金融資産 9,704 兆円（令和5年12月）、対外純利益（令和4年末）4,186 兆円、外貨準備高（令和6年3月）200 兆円、経常収支（令和5年度速報）25.3 兆円と 1 京円に近い資産を有している。また円高対策で円売り利益が 2 兆円出ているのに、少子化対策として健康保険料上乘せで 2 兆円、防衛費増額予算に対する新たな増税と聞くと投げやりな気持ちになるのは私だけであろうか。